

## 日野の歴史と民俗 147 (詳細版)

# 絵はがきのはじまり

日野郵便局の前に「タラヨウ」の木があるのをご存じですか？ タラヨウは葉の裏面を傷つけるとその部分が黒くなり、文字を書きつけておくことが出来ることから、別名「はがきの木」といわれています。

日本で郵便はがきの発行が始まったのは明治6年(1873)のこと、初めは官製はがきのみでした。明治33年9月に、私製はがきの発行が認められるようになり、翌10月に絵はがきの発行も認められました。

現在でこそカメラ付携帯電話が普及し簡単に写真を撮ることが出来ますが、見た景色をそのまま持ち帰り、いつでも眺めて思い出すことの出来る写真絵はがきは大変重宝されました。

七生村きつての観光名所である高幡不動尊や百草園をモチーフにした絵はがきは、実に多くの種類が出されています。また、日野宿の藤屋が発行した「日野名勝絵葉書」や、鮎料理屋の玉川亭が発行した絵はがきからは、当時の日野の人びとが、どんな情景に「日野らしさ」を感じていたのかが分かります。

他にも絵はがきは、鉄道や橋、大きな建造物の完成といった大事業や記念式典・催事などの際に、記念品として製作・発行されたものが数多くあり、ニュース性も高く貴重です。

郷土資料館では現在、市制施行50周年記念特別展「第一部 日野の明治・大正・昭和～いま振り返る日野の近代～」を開催しています(12月9日まで)。絵はがきもたくさん展示していますので、ぜひご覧ください。

(日野市郷土資料館 矢口祥有里)



### 玉南鉄道開通記念絵葉書

大正14年3月、玉南鉄道(現・京王線の府中―八王子間)開通時の記念絵はがき。



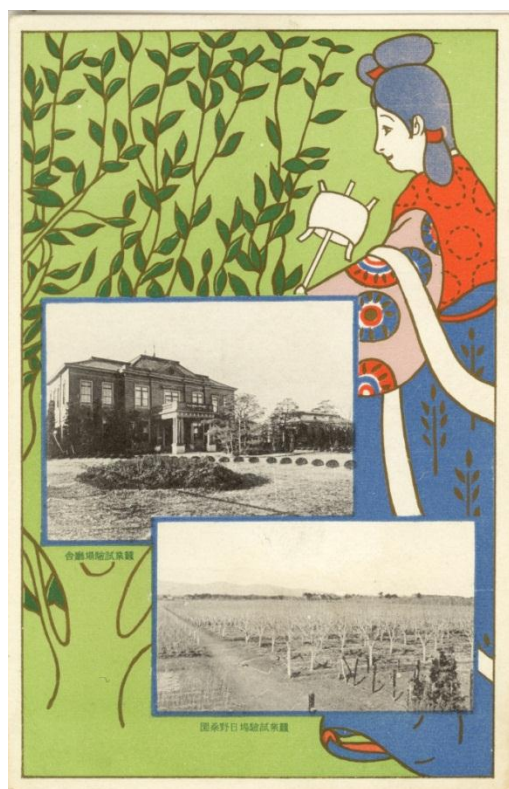
△望ヲ川摩多リヨ園草百 (所名摩多)

多摩名所絵葉書 百草園より多摩川を望む



第一回国勢調査記念絵葉書

大正9年10月1日、日本で初めて  
国勢調査が行われたときの記念絵はがき。



蚕業試験場絵葉書

昭和初年。  
右下が日野桑園の写真。

◎これは「広報ひの」平成24年11月15日号に掲載された記事の詳細版です。

資料館にて印刷したのもも配布しています。

(問) 日野市郷土資料館 (TEL 042-592-0981)